

事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価結果表

事業所名 (特非)発達支援ネットワークつむぎ つむぎ落合

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点 改善目標	それを踏まえた対応
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1			<ul style="list-style-type: none"> 利用者様にあった環境に向け、定期的に構造、活動カリキュラムを見直す機会を設けています。
	2	職員の配置数は適切である	3	1			<ul style="list-style-type: none"> 職員の体制は指定基準を満たしております。保育士、児童指導員等の資格を有したものが支援を実施しております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4				
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	1			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4				<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の結果はホームページに公開しております。また、事業所内でも共有を行っております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4				<ul style="list-style-type: none"> 法人内の各事業所の管理者の視察アドバイスや外部講師の先生による巡回相談の機会を設けています。

適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4				<ul style="list-style-type: none"> ・参加した研修の内容をアウトプットする機会や職員学習会等資質向上に向けた取り組みを行っています。 ・法人本部より他法人の研修が掲示されるため自己啓発に活用できる。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1			<ul style="list-style-type: none"> ・根拠のあるアセスメントツールを活用し計画作成を行っております。保護者様の思いや興味関心の情報も大切に計画作成に務めております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4				<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の状況によって様々なアセスメントを活用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1			<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様に合った活動を担当職員が担い設定しますが、職員で情報共有（子どもの好きなことなど）しながら課題に取り組むようにして、色々な職員の発想が入ったプログラムを立案するようにしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1			<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容は、自由遊び、先生とお勉強、一人で勉強、宿題等は固定化です。ただ、日によってあるいはコンディションによってスケジュールの変更はあります。また課題内容は毎回変化しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1			<ul style="list-style-type: none"> ・平日と長期休暇の活動時間に応じて、支援カリキュラムを変えています。長期休暇には、小集団活動も取り入れています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	2			<ul style="list-style-type: none"> ・長期休み期間に集団活動を行っている為、個別活動との組み合わせが十分確保できていない状況もあります。利用者様のニーズに応じて、日頃より集団活動を実施できる環境についても検討していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全員で集まって行うことが難しい場面もあります。運営ボードの活用により、各自動きを確認できる工夫や連絡会にて特記事項の共有を行っております。

関係機関や保護者と	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1		<ul style="list-style-type: none"> 共有時間が持ちにくいことがあるため、翌日に共有することもある。緊急の要件は、当日共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後等デイサービスという事業所の特性を踏まえると、午前中の方が話し合いは持ちやすいです。支援終了後の共有が難しい場合は、翌日の連絡会で情報共有を行っております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	3	1			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2		<ul style="list-style-type: none"> てんかんについては、保護者からの情報を基本として対応している状況。主治医と直接的に連絡を取る機会が現状は無い状況。連絡先等は、共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療との連携が必要になる場合は、保護者との情報共有を丁寧に行う中で連絡体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1		<ul style="list-style-type: none"> 対応したケースを知らない状況がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 移行支援会議に参加し、引継ぎシートの書面を用いて、情報提供を実施しております。

の連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4				・現在、専門機関の先生による巡回相談の機会や法人内の事業所管理者による公開療育の機会を設けております。支援環境、内容に関して助言を頂いております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	2			・地域との交流、活動の機会として法人としてこども食堂の開催を予定しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4				
保護者へ	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	1	1		・年に6回程度の座談会を開催し、保護者支援や保護者同士のつながりを大切にしております。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4				・契約の際に各種用紙を使用し、丁寧な説明を行い、ご署名をいただいております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4				・受付窓口を設け、迅速に責任者が対応できるよう体制を整えております。

の説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4					・毎週、つむぎ通信やつむぎフェイスブックを発行し、様々な情報提供を行っております。
	35	個人情報に十分注意している	4					・申し送りする場所を分けることや室内の個人名の入ったツールの管理等の配慮を行っております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4					
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	1			・地域との交流、活動の機会として法人としてこども食堂を実施を検討しております。 ・講演会は地域の方にも積極的に案内をさせていただきます。
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4					・保護者へは契約時にお伝えしております。また、職員については、法人内研修や支援会議の場でマニュアルの情報を共有しています。マニュアルは、事務所に常に見れるようにしております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4					・定期的に防災訓練を行っております。法人内に危機管理委員会も設置し、情報共有を行っております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4					
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	2	1		計画とは、別紙で同意書を頂く形で対応している。	・契約時には、保護者様へ身体拘束に関するご説明を行っております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4					

	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4				<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットシートの作成を通して原因追及、手立てを整理し、早期対応を大切にしております。今後、ヒヤリハットの積極的な活用に力を入れていきます。
--	----	---------------------------	---	--	--	--	--

(特非) 発達支援ネットワークつむぎH30. 9.1～

|